

LUCA / LUCA QLED

地上 / BS / 110度CSデジタル /
BS4K / 110度CS4K

4Kチューナー内蔵
スマート液晶テレビ

43XDA20

50XDA20

55XDA20

55XQDA20 (QLED)

65XDA20S

取扱説明書

インターネットへの接続をおすすめします

インターネットに接続することで、音声での検索や各種クラウドサービス、最新ソフトウェアの更新など、快適に本製品を使用いただけます。

※イラストは特に記載のないものは
すべて55XDA20です。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
付属品	6

準備と使いかた

各部の名称と基本的な使いかた	7
設置する	11
初期設定をする	15
機器と接続する	17
ネットワークに接続する	19
音声でコンテンツを検索する	20

こんなときは

こまったときは・・・	21
お手入れ	22
保証とアフターサービス	22
システムアップデートについて	22
仕様・商標	23

この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本書はテレビの基本的な使いかたについて説明しています。
使いかたの詳細内容はヘルプガイドをご確認ください。
<https://www.irisohyama.co.jp/luca/tv/smart-tv/support/>



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 交流100V以外では使わない
- 海外で使用しない
火災・感電の原因になります。
本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。

- 乳幼児に電源プラグを触らせない
けがや感電の原因になります



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする、煙が出ている
- 内部に水や異物が入った
- 本製品を落としたり、本製品の一部を破損した
- 正常に動作しない（画面が映らない、音が出ない）
- 電源コードやプラグに傷がある
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない

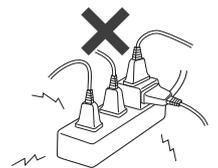


- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、はさみ込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときはコンセントから電源プラグを抜いてください
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

- コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない



設置について



- 不安定な場所に設置しない
落下すると、死亡や重大なけがの原因になります。特に子どもに対する傷害は、多くの場合、以下の予防処置をすることで回避できます。
- テレビ台を使用するときは、テレビの設置面が平らで、十分に強度があり、ぐらつかないものを使用する
- テレビ台に載せるときは、テレビの脚が台からはみ出さないようにする
- 背の高い台に乗せるときは、テレビと家具の両方に転倒防止処置をする
- テレビの下に、布など不安定になるものを敷かない
- テレビを操作するために台の上によじ登ると危険であることを子どもに教え、実際によじ登らないよう注意する



- 台などに設置するときは、必ず付属のスタンドを取り付ける
転倒して、重大なけがの原因になります。
付属以外のスタンドなどは使用しないでください。

取り扱いについて



分解禁止

- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 通風孔をふさがない
布をかけたり、壁などに密接して、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因になります。
・密閉したラックの中に入れてください。
・じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
・設置の際は周囲から10cm以上の間隔を空けてください。



- 内部に異物や水分を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。
・通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
・本製品の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類（安全ピンやヘアピンなど）を置かないでください。
・水がかかるような場所では使用しないでください。



- 乾電池の液がもれたときは素手で液に触れない
失明の原因になります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服に付いたときも、やけどやけがの原因になります。すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

リモコンの電池についての注意



- 電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ と マイナス ⊖ の向き）に注意し、説明書の通りに正しく入れる
間違えると、破裂・液もれにより、火災・けが、周囲を汚損する原因になります。
- 長期間使用しないときは電池を取り出しておく
液がもれて、火災・けが・周囲の汚損の原因になります。
液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。



- 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない
ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。

- 指定以外の電池は使用しない
過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。

- 乾電池は絶対に充電しない
破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。
※充電式電池を除く。



分解禁止

- 分解しない
皮膚や衣服を損傷することがあります。

取り扱いについて



- 液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えたりしない
液晶パネルが割れてけがの原因になります。液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因になります。
万一パネル内部の液体が口に入った場合は、すぐうがいをして医師に相談してください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師の診察を受けてください。



プラグを抜く

- 長期間使わないときは、電源プラグを抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- 湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない
火災や感電の原因になります。

使用上の注意

● 液晶パネルについて

- 液晶パネルには、画面の一部に欠点（黒い点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。
- 液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり、動きがスムーズに見えないことがあります。故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶パネルはバックライトが発光することにより画像を表示していますが、バックライトには寿命があります。常温での使用時に画像が暗くなるようになったら、アイリスコールへご相談ください。

● 本製品の温度について

- 本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

● 輸送・設置について

- 本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や欠点の増加のおそれがありますので、横倒しで輸送しないでください。
- 本棚などの通気の悪い場所に設置するときは、本体と周囲との間に十分なスペースを空けてください。

● 本書の表記と内容について

- 本製品の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- 本書に記載されている本体や画面などのイラストは、実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

● ACASチップについて

- 本製品はACASチップを内蔵しており4K放送を含むデジタル放送が受信できます。（ACASチップはB-CASカードの機能も備えています。）
- ACASのID番号は、テレビ視聴中、リモコンの （設定）ボタン>[デジタル放送]>[情報]>[ACAS番号]をご覧ください。

● アンテナについて

- 地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。
- BS・110度CSおよびBS 4Kの右旋のデジタル放送（NHKおよび無料の民放テレビ放送）を受信するには、BS・110度CS用アンテナが必要です。
- BS 4Kおよび110度CS 4Kの左旋のデジタル放送を受信するには、左旋のデジタル放送に対応したアンテナ・混合器・ブースター・分波器・分配器が必要です。

廃棄するときは

- 本製品は家電リサイクル法の対象製品です。家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
- 本製品を廃棄するときは、個人情報の消去をしてください。（テレビをご覧になっている状態から、リモコンの （設定）ボタン>[デバイス設定]>[デバイス情報]>[出荷時設定にリセット]。[設定]を表示するには、テレビ視聴中にリモコンの （設定）を押すか、ホーム画面右上の  ボタンを選んでください。
- 有料放送・ネットワークサービスなどを契約している場合は、上記の方法で情報は消去されないのので、契約した放送局に連絡してください。

● 電波法に基づく認証について

本製品内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本製品内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本製品内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがすこと。

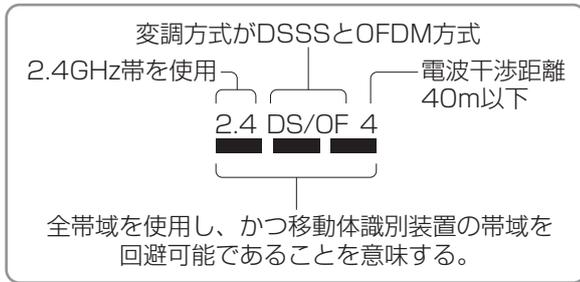
無線LAN / Bluetooth機能®の使用について

- 本製品および付属のリモコンは日本国の電波法に基づく無線設備です。分解して使用すると法律で罰せられることがあります。
- 本製品に搭載されている無線LAN設備や、本製品および付属のリモコンに搭載されているBluetooth機能は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは法令で禁止されています。屋外で本製品の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯を使用してください。
- 本製品の無線LANおよびBluetooth機能が使用する周波数帯は、それぞれ2.4GHz帯/5GHz帯と2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本製品に内蔵の無線LANや、本製品および付属のリモコンのBluetooth機能をお使いになる場合は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

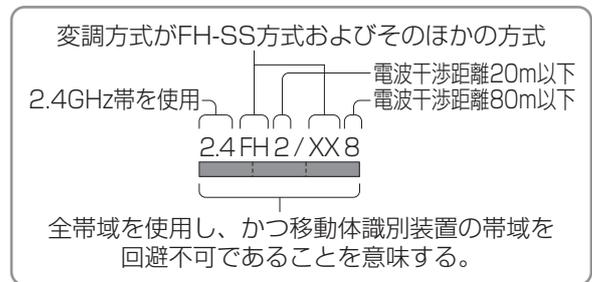
● 周波数表示の見かた

周波数表示は本体背面のラベルに記載しています。

無線LAN



Bluetooth機能



本製品の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本製品の無線機能を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止した上、アイリスコール（裏表紙記載）にご連絡ください。
- 3 その他、何かお困りのことが起きたときは、アイリスコール（裏表紙記載）へお問い合わせください。

- 本製品の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品を使用してください。

- ・ IEEE802.11b/g/n
- ・ IEEE802.11a/n/ac (W52/W53/W56)
- ※ J52の無線規格には対応していません。

規格	チャンネル	周波数帯
IEEE802.11b/g/n	1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE802.11a/n/ac	W52	36,40,44,48
	W53	52,56,60,64
	W56	100,104,108,112, 116,120,124,128, 132,136,140

● 無線LANの性能や環境条件による影響

無線LANのデータ転送速度は、通信距離、障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。

- ・ 製品はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。5GHz帯に対応している無線LANをご使用の場合は、5GHz帯での使用をおすすめします。

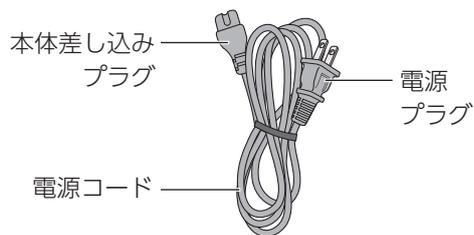
- 本製品の近くに無線LANルーターが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、または接続に失敗することがあります。このような場合は、本製品と無線LANルーターを離して使用してください。

付属品

Bluetoothリモコン、
単4形乾電池×2 (テスト用)



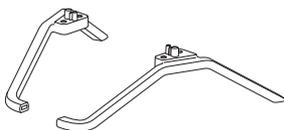
電源コード



取扱説明書 (本書)、保証書



スタンドベース×2、
スタンド用センターシャフト×1



スタンド固定用ねじ (大) × 4



スタンド組立ねじ (小) × 4



壁掛用スペーサー×2



※ 65XDA20Sには付属して
いません

各部の名称と基本的な使いかた

本体前面

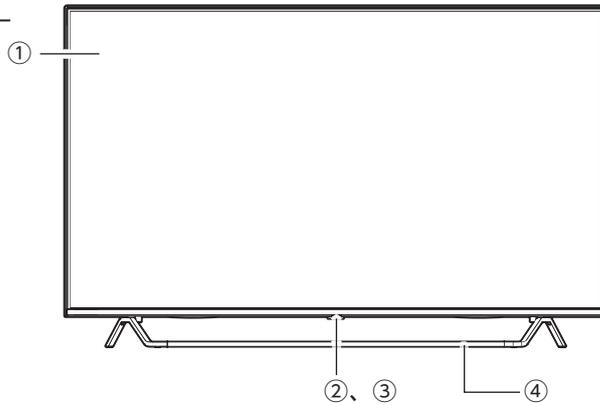
①：液晶パネル

②：本体操作部（底面）

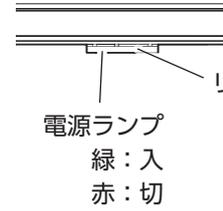


電源/マルチボタン

- ・電源切時に押すと電源が入ります。
- ・電源入時に押すと、音量やチャンネルの変更、入力切換、電源を切ることができます。



③：電源ランプ/リモコン受信部



リモコン受信部

電源ランプ

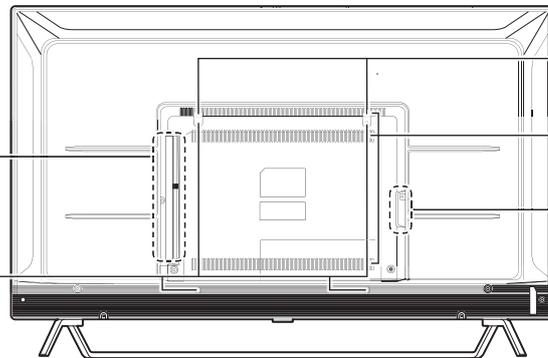
緑：入

赤：切

④：スタンド

本体背面

43XDA20



接続パネル (P8)

壁掛用ねじ穴 (4か所)

※壁掛けする場合は、上部2か所は転倒防止用クリップをはずして、壁掛用スペーサーを使用してください。

転倒防止用クリップ

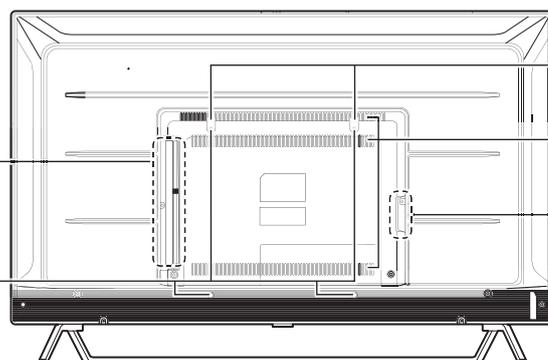
通風孔

電源接続部



電源コード差込口

50XDA20



接続パネル (P8)

壁掛用ねじ穴 (4か所)

※壁掛けする場合は、上部2か所は転倒防止用クリップをはずして、壁掛用スペーサーを使用してください。

転倒防止用クリップ

通風孔

電源接続部

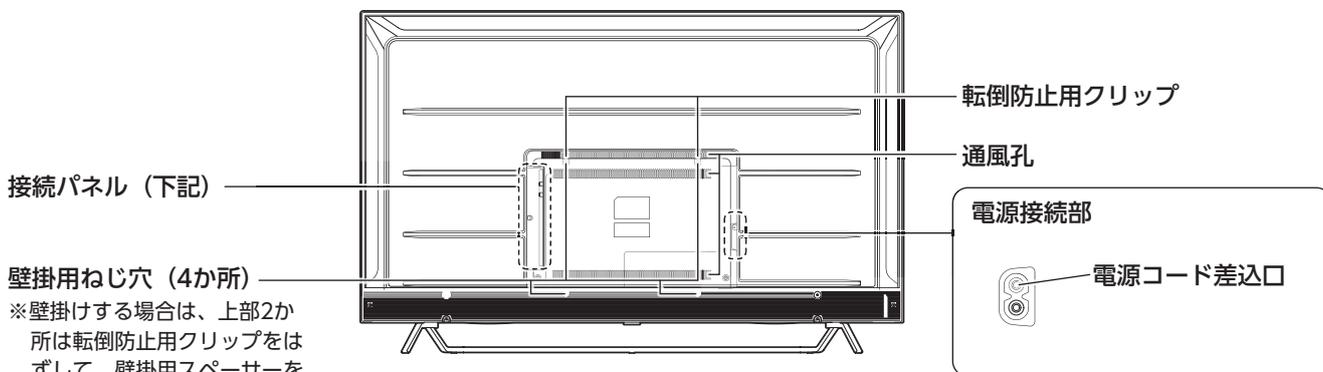


電源コード差込口

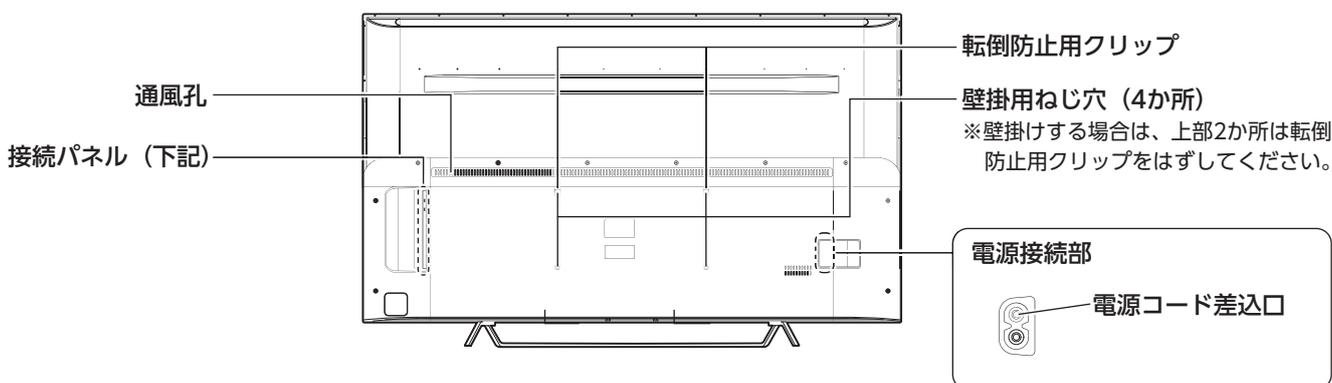
各部の名称と基本的な使いかた つづき

本体背面 つづき

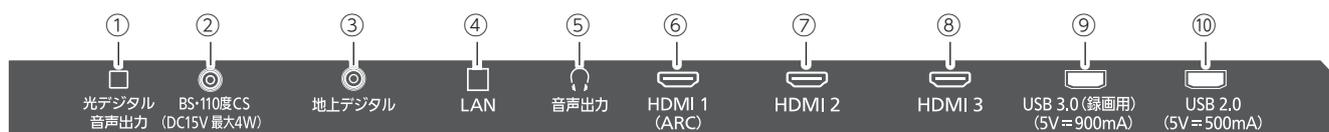
55XDA20 / 55XQDA20



65XDA20S



接続パネル



①：光デジタル音声出力端子

AVアンプやデジタルレコーダーなどの光デジタル音声入力端子のある機器に接続して音声を楽しめます。

②：BS・110度CSアンテナ入力端子

BS・110度CSデジタル放送を受信するためのアンテナケーブルを接続する端子です。

③：地上デジタルアンテナ入力端子

地上デジタル放送を受信するためのアンテナケーブルを接続する端子です。

④：LAN端子

ルーターに接続したLANケーブルとつなぎ、テレビをネットワークに接続します。

⑤：音声出力端子（3.5mmステレオミニジャック）

ヘッドホンなど3.5mmステレオミニプラグ（3極）のある機器を接続して音声を楽しめます。

⑥：HDMI 1（ARC対応）入力端子

ARCに対応した機器をHDMIケーブルで接続するとき使用する端子です。通常のHDMI機器も接続できます。

⑦：HDMI 2入力端子

⑧：HDMI 3入力端子

HDMIケーブルで機器を接続するとき使用する端子です。

⑨：USB 3.0（録画用）端子

USBハードディスクと接続してデジタル放送を録画できます。

⑩：USB 2.0端子

USBメモリーなどと接続して、写真や音楽を楽しめます。

リモコン

電源ボタン

テレビの電源を入/切します。

入力切換：入力切換ボタン

テレビや接続した機器など視聴する入力を切り換えます。

地デジ BS CS 4K：放送選択ボタン

受信する放送を選びます。

AIオート：AIオートボタン ※

AIオートのオン/オフ設定ができます。

はっきり：はっきりボタン

はっきりのオン/オフ設定ができます。

dデータ：dデータボタン ※

データ放送を表示します。

番組表：番組表ボタン ※

番組表を表示します。

戻るボタン

操作画面や番組表、機器設定などで、1つ前の画面に戻ります。

テレビボタン

テレビに切り換えます。前回視聴していたチャンネルを表示します。

▲▼◀▶ボタン

操作画面や番組表、設定などで、項目を移動します。

決定：決定ボタン

▲▼◀▶ボタンで選んだ項目を決定します。

チャンネルボタン ※

チャンネルを順に切り換えます。

3桁入力：3桁入力ボタン ※

3桁の数字でチャンネルを選局します。

消音：消音ボタン

音声を消します。もう一度押すか、**+** **音量** **-** を操作すると消音は解除されます。

音声切換：音声切換ボタン ※

2か国語/ステレオなど、音声を切り換えます。

音量 + / - ボタン

音量を調節します。



各種サービスに切り換えます。

メニュー：メニューボタン ※

テレビ視聴中にテレビメニューバーを表示します。番組表や録画リスト、予約一覧の表示中、録画番組の再生中に押すと、それぞれの画面の操作メニューバーを表示します。

画面表示：画面表示ボタン

視聴している番組の情報を表示します。録画再生中は、再生中の番組の情報を表示します。

Google Assistantボタン

Google Assistantを使用できます。

サブメニュー：サブメニューボタン

機器設定メニューを表示します。

字幕：字幕ボタン

字幕の表示を切り換えます。

設定ボタン

設定メニューを表示します。

ホームボタン

ホームメニューを表示します。

アプリボタン

アプリ一覧を表示します。

青・赤・緑・黄：カラーボタン (青・赤・緑・黄)

各色のボタンに対応する機能を選択できます。様々な機能ボタンとして使用します。機能は画面に表示されます。

1 ~ 12：数字ボタン

視聴するチャンネルの選択や数字の入力に使います。

録画リスト：録画リストボタン ※

録画番組のリストを表示します。

予約一覧：予約一覧ボタン ※

番組の予約一覧を表示します。



外付けUSBハードディスクを接続して番組を録画・再生するときに使用します。

※ テレビ放送視聴時に有効です。詳しくはヘルプガイドをご確認ください。

基本的な使いかたはP10→

各部の名称と基本的な使いかた つづき

テレビを見る

①リモコンボタンを使う

- 1 **地デジ** **BS** **CS** **BS/CS** **4K** で放送波を選ぶ
- 2 **1** ~ **12** または **チャンネル** で番組を選ぶ

②番組表から見る

- 1 **番組表** を押す (番組表が表示)
- 2 **▲▼◀▶** で番組を選び、**決定** を押す
- 3 [視聴する]を選び、**決定** を押す

③テレビ視聴中にテレビメニューバーから見る

- 1 **メニュー** を押す (テレビメニューバーが表示)
- 2 **▲▼◀▶** と **決定** で放送局と番組を選ぶ

入力機器、サービスを切り換える

- 1 **入力切換** を押す
- 2 **▲▼** で外部機器を接続している入力機器、サービスを選び **決定** を押す

※ **入力切換** を何度か押すことでも切り換えられます。

動画配信サービスを利用する

- 1 インターネット接続の設定をする →P19
- 2 リモコンの **ホーム** を押してホーム画面にする
- 3 視聴したい動画配信サービスのボタンを押す

ポイント

- ログインが必要な場合があります。
- リモコンの各種サービスボタンでも選択できます。

視聴中の番組を録画する

番組を視聴中に **録画** を押す

録画を中止するには

- 1 **停止** を押す
- 2 [はい]を選んで **決定** を押す

! **お願い**

- 視聴中の番組を録画するには、あらかじめ録画用ハードディスクを登録してください。 →P18

※ 予約録画中は録画できません。

※ 予約録画がある場合は予約録画が優先されます。

録画予約する

- 1 **番組表** を押し、番組表を表示させる
- 2 **▲▼◀▶** と **決定** で録画する番組を選ぶ
- 3 **▲▼◀▶** で[予約する]を選び、**決定** を押す

! **お願い**

- 録画予約するには、あらかじめ録画用ハードディスクを登録してください。 →P18

録画した番組を見る

- 1 **録画リスト** を押す (録画リストが表示)
- 2 見たい番組を選び、**決定** を押す

! **お願い**

- 録画した番組を視聴するには、あらかじめ録画用ハードディスクを登録してください。 →P18

録画した番組を削除する

- 1 **録画リスト** を押す (録画リストが表示)
- 2 削除したい番組を選び、**黄** を押す

その他、テレビ、番組表、テレビメニューバーなどの詳しい使いかたは、ヘルプガイドをご確認ください。

<https://www.irisohyama.co.jp/luca/tv/smart-tv/support/>



設置する

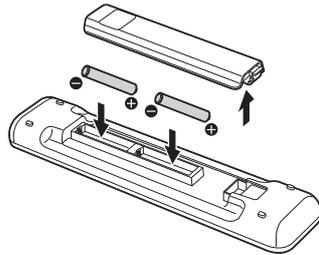
リモコンの準備



- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わないでください。電気が逆流して火災やけがの原因になります。
- 乾電池の入れかたが正しくないと、火災の原因になります。
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしないでください。
- 絶対に火の中に入れてください。
- 直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池の入れかた

- 1 背面カバーを開ける
- 2 単4形乾電池を指定の向きに入れる (2個)
- 3 背面カバーを閉じる

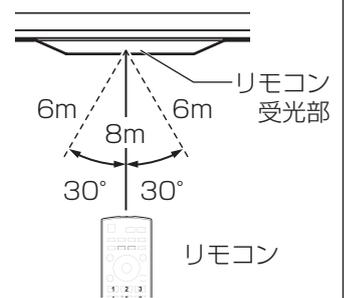


! お願い

- 乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則にしたがってください。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

リモコンで操作できる範囲

リモコンの赤外線発光部を本体のリモコン受光部に向けて、直線：約8m以内、左右30°：約6mの範囲で操作できます。



! ポイント

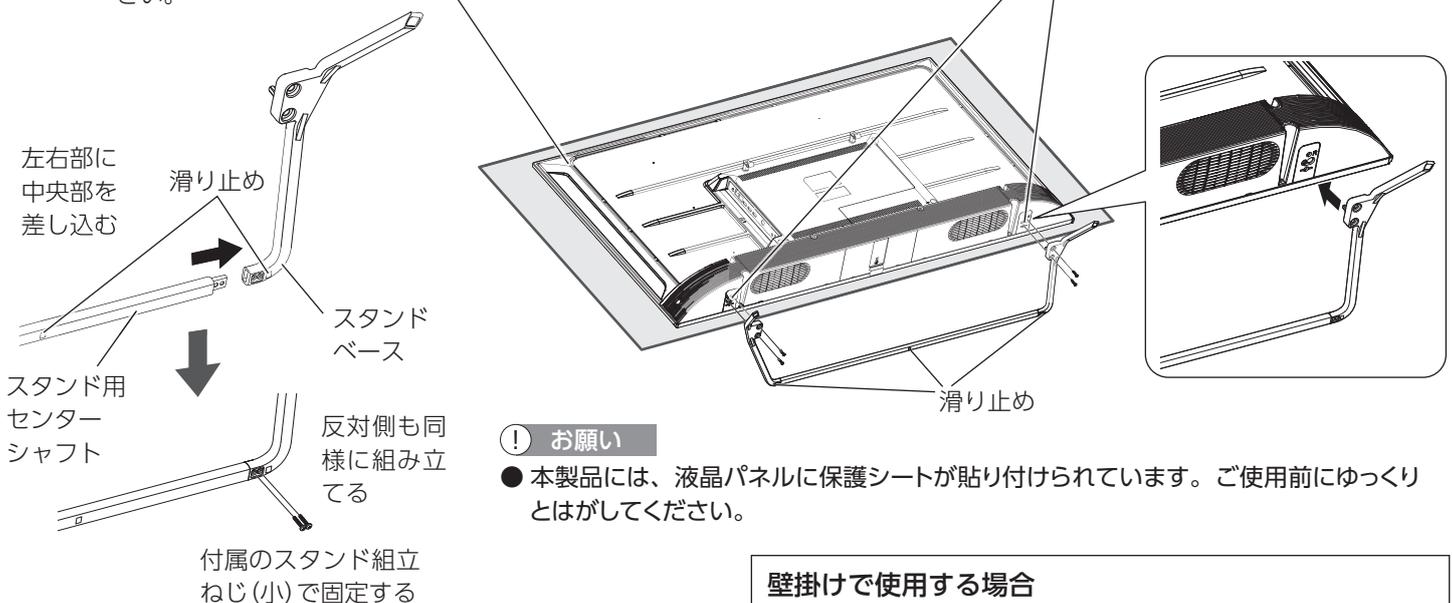
- リモコン操作のコツ
リモコン受光部の正面から操作する。
リモコンと本体のリモコン受光部の間にものを置かない。

スタンドの取り付けかた

! お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。

- 1 スタンドを組み立てる
・ 滑り止めが下側になるように取り付けてください。
- 2 毛布などを敷いた台の上に液晶パネルを下向きにしてテレビを置く
- 3 付属のスタンド固定用ねじ (大) で手順1で組み立てたスタンドを取り付ける



! お願い

- 本製品には、液晶パネルに保護シートが貼り付けられています。ご使用前にゆっくりとはがしてください。

壁掛けで使用する場合

取り付けの詳細は、ヘルプガイドご確認ください。



<https://www.irisohyama.co.jp/luca/tv/smart-tv/support/>



- 必ず転倒防止対策をしてください。

設置する つづき

アンテナの接続

！ お願い

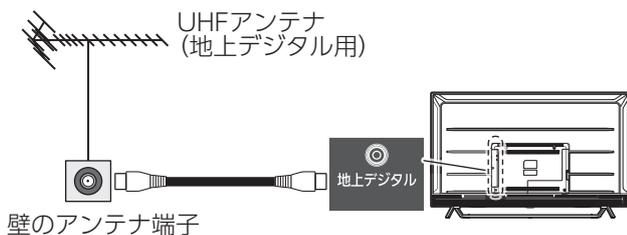
- アンテナを接続する前に、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- アンテナ工事には専門知識が必要です。アンテナの設置や調整については、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
- 一部のアンテナプラグは、形状によってはアンテナ端子への挿入が困難なものがあります。
- 信号の受信レベルは、天候の影響などにより変動します。アンテナを設置するときは、アンテナレベルを確認し、アンテナの調整、ブースターの追加などを行ってください。
- ケーブルテレビやインターネット配信などで地上デジタル放送を視聴するには、ケーブルテレビ会社やインターネット配信の会社の説明にしたがってください。
- すでに設置してあるアンテナを使用する場合は、使用する場所やアンテナの設置状況によって、取り換えや調整、ブースターの設置などが必要になることがあります。
- アンテナや、接続に必要なアンテナケーブルは付属していません。使用するアンテナの種類や使用環境条件に合わせて、適切なケーブルを使用してください。

接続イラスト内のケーブルについて

- ☐ : アンテナケーブル (同軸ケーブル)
- ☐ : アンテナケーブル (BS・110度CS4K対応同軸ケーブル)

地上デジタル放送

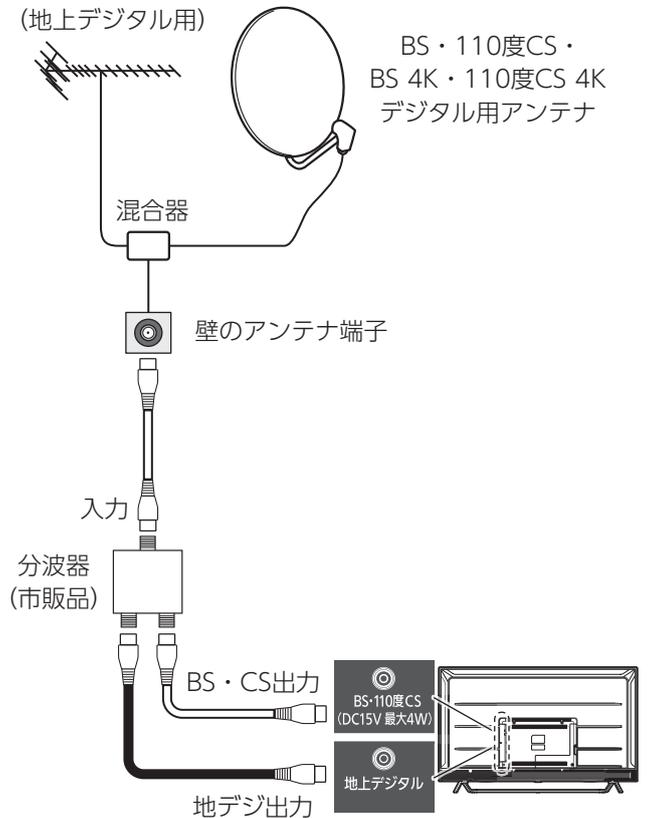
- 地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送対応型のUHFアンテナが必要です。



地上デジタルとBS・110度CSデジタルが、1本のケーブル (または1個の壁のアンテナ端子) にまとめてある場合

- 地上デジタル用アンテナと、BS・110度CS・BS4K・110度CS 4Kデジタル用アンテナが、混合器を使用して1本のケーブル (1個の壁のアンテナ端子) にまとめる場合は、分波器で2本のケーブルに分け、本製品の地上デジタル用アンテナ端子とBS・110度CSデジタル用アンテナ端子に接続してください。
- アンテナに電源を供給する場合は、ブースターや混合器・分配器・分波器などは、電流通過型を使用してください。

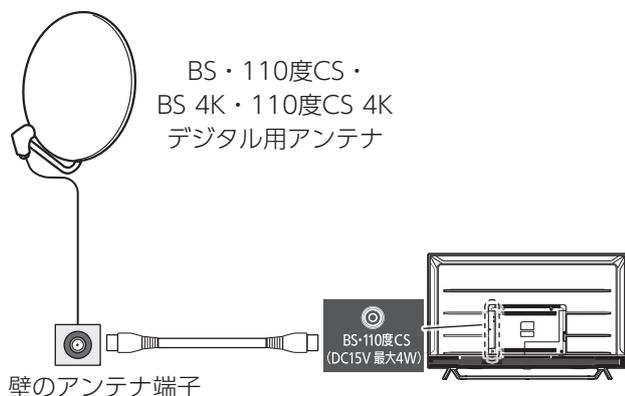
UHFアンテナ (地上デジタル用)



アンテナの接続

BS・110度CSデジタル放送

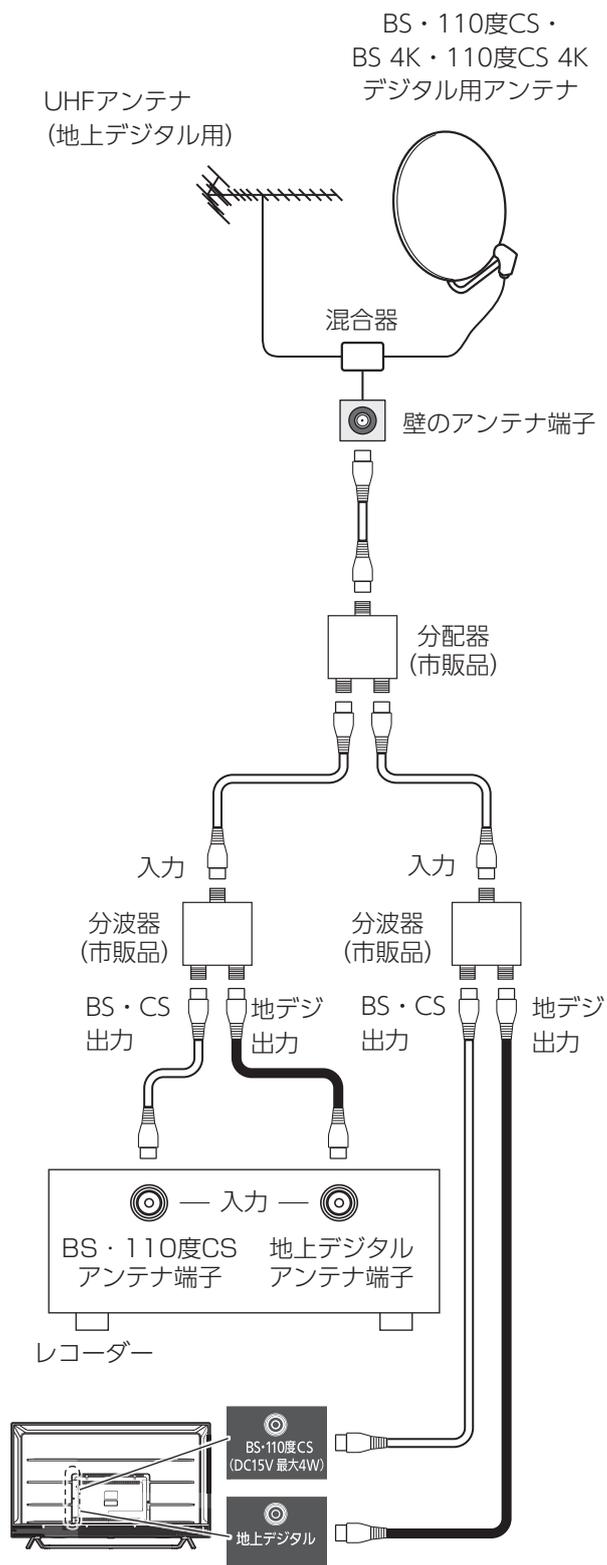
- BS・110度CSデジタルおよびBS 4Kの右旋のデジタル放送（NHKおよび無料の民放テレビ放送）を受信するには、BS・110度CS用アンテナが必要です。
- 110度CSデジタル放送を受信するには、110度CSデジタル対応のケーブルを使用してください。
- 110度CSデジタル放送を受信して、ブースターやBS・110度CS用分配器を使用する場合は、110度CSデジタル放送（周波数2,150MHz）に対応した機器を使用してください。
- BS 4Kおよび110度CS 4Kの左旋のデジタル放送を受信するには、左旋のデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースター・混合器・分配器・分波器・ケーブルなども左旋の帯域に対応したものを使用してください。
- BS・110度CS・BS 4K・110度CS4Kデジタル用アンテナには、必要に応じて、本製品のアンテナ端子から電源を供給できます。アンテナへの電源供給の設定については、リモコンの （設定）ボタン>[デジタル放送]>[受信設定]>[アンテナ電源（LNB電源）設定]で設定してください。アンテナに電源を供給する場合は、ブースターや混合器・分配器・分波器などは、電流通過型を使用してください。



■レコーダーをつなぐとき

(4Kデジタル放送非対応のレコーダーの場合)

- レコーダーに録画した番組を再生して視聴するには、レコーダーのHDMI出力端子と本製品のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。



設置する つづき

アンテナの接続

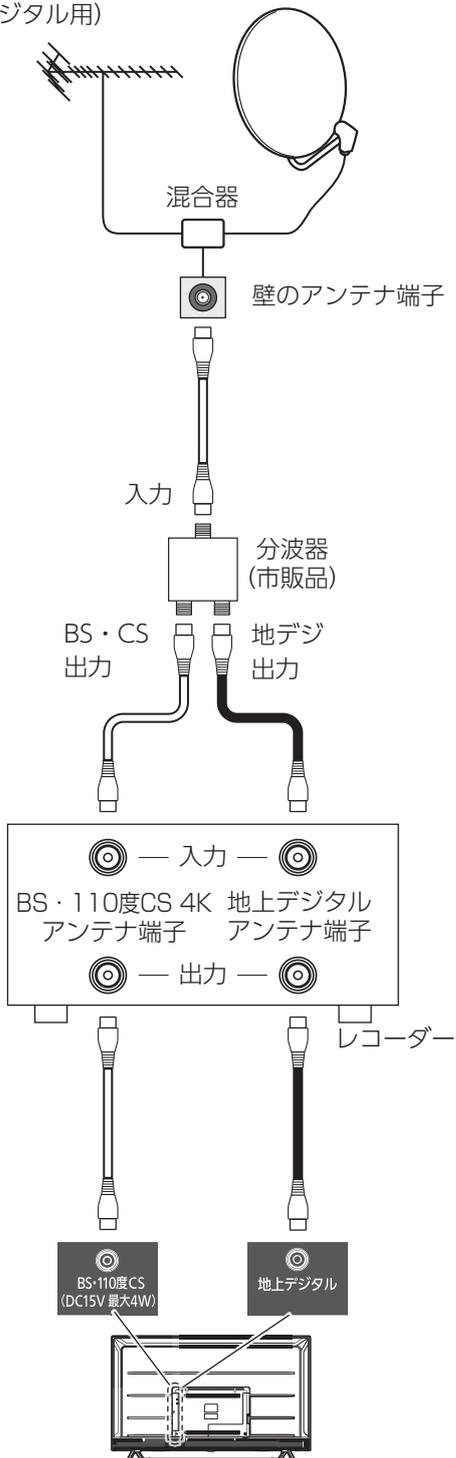
■レコーダーをつなぐとき

(4Kデジタル放送に対応したアンテナ端子の入出力のあるレコーダーの場合)

- レコーダーに録画した番組を再生して視聴するには、レコーダーのHDMI出力端子と本製品のHDMI入力端子を、HDMIケーブルで接続してください。

BS・110度CS・
BS 4K・110度CS 4K
デジタル用アンテナ

UHFアンテナ
(地上デジタル用)



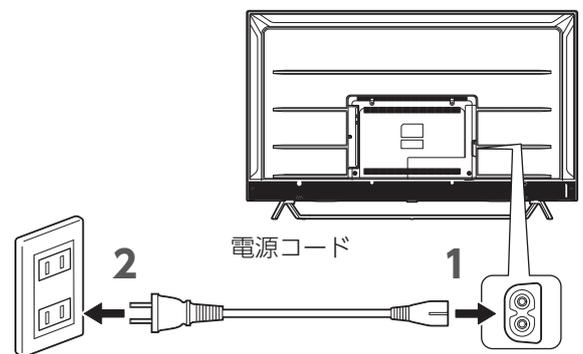
電源の接続



注意

- 電源プラグは、すぐに抜くことができるように、手の届く位置のコンセントに接続してください。
- 付属以外の電源コードを使用しないでください。
- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

- 1 電源コードの本体差し込みプラグを本体背面の電源コード差し込み口に差し込む
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む



初期設定をする

初めて電源を入れたときの設定

1 リモコンで電源を入れる

2 画面の案内にしたがってBluetoothリモコンとテレビのペアリングを行う

〈リモコンの設定〉

と を押してください。30秒後に自動でスキップされます。

3 画面の案内にしたがってGoogle関連の初期設定を行う

〈言語の設定〉

▲▼で言語を選び、 を押してください。



〈スマートフォンの設定〉

Androidスマートフォンでのセットアップを選んでください。

【次へ】：クイックセットアップ画面が表示されますので、画面にしたがってセットアップしてください。

【スキップ】：次のネットワークの設定に進んでください。



〈ネットワークの設定〉

有線接続：Wi-Fiルーターに接続されたLANケーブルを、本製品のLAN端子に接続してください。

無線接続：使用するWi-Fiネットワークを▲▼と で選び、パスワードを入力してください。

・インターネットへ接続されます。



〈Googleへのログイン〉

Googleへログインしてください。

※ Googleアカウントがない場合は、Googleアカウントを取得するか、【スキップ】を選んで、 を押してください。【スキップ】を選んだ場合、Googleの各種サービスは使用できません。



〈Googleの設定〉

【利用規約】と【Googleサービス】に同意してください。

※ Googleアカウントをお持ちでない場合は、Googleアカウントを取得するか、【スキップ】を選んで を押してください。【スキップ】を選んだ場合、Googleの各種サービスは使用できません。



〈Google Assistantの設定〉

Google Assistantを設定してください。

・Google関連の設定が完了すると、完了画面が表示されます。



※ ペアリングができなかった場合は後からでも設定できます。

> [リモコンとアクセサリ] から設定してください。



ポイント

- スマートフォンからWi-FiネットワークとGoogleアカウントの情報をテレビに簡単に移行できます。



ポイント

- パスワードを入力して、 を選び、 で決定してください。



ポイント

- Googleへのログインは後からでもできます。



ポイント

- Google Assistantの設定は後からでもできます。

初期設定をする つづき

初めて電源を入れたときの設定

4 画面の案内にしたがってテレビの初期設定を行う

〈設置場所の設定〉 〈お住まいの国の設定〉

設置場所の設定を行って、お住まいの国（日本）を選んでください。



〈テレビ利用規約〉

[利用規約]をよく読んで[同意する]を選び、**決定**を押してください。



〈取得情報の取扱いに関する保護方針〉

[取得情報の取扱いに関する保護方針]をよく読んで[同意する]を選び、**決定**を押してください。



〈Cookieに関する通知〉

[Cookieに関する通知]をよく読んで[同意する]を選び、**決定**を押してください。

※Cookieとは、Webサイトからテレビの中に保存される情報のことです。



〈アンテナ接続の確認〉

アンテナが図のように正しく接続されていることを確認して[次へ]を選び、**決定**を押してください。



〈アッテネータ設定〉 〈アンテナ電源（LNB電源）設定〉

▲▼で選んで **決定** を押して、ON/OFFを切り換えてください。



〈郵便番号の設定〉

1 ~ **10** を押して入力し、[次へ]を選び **決定** を押してください。

・郵便番号を入力すると、自動的に[次へ]にカーソルが移動します。



〈チャンネルスキップの設定〉

都道府県を確認し、[スキップ開始]を選び、**決定**を押してください。

5 ◀▶で[完了]を選び、**決定**を押して完了

これで初期設定完了です。

ポイント

- 設置環境により、アッテネータ設定、アンテナ電源（LNB電源）を設定する必要があります。

ポイント

- ◀▶でカーソル移動、▲▼で数字を選ぶこともできます。

機器と接続する

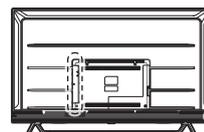
BDレコーダーやパソコンをHDMIに接続する場合

デジタル信号のまま映像と音声を入力できます。HDMI出力端子のある機器と、HDMIケーブルで接続してください。接続する機器の取扱説明書を確認の上、接続してください。

ブルーレイレコーダーなど



HDMIケーブル



パソコンなど

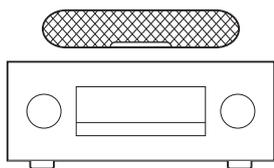


ポイント

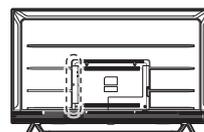
- DVD・ブルーレイレコーダーなどでデジタル放送を録画するには、アンテナの接続が必要です。 →P13、14

ARC対応した機器をHDMI（ARC）に接続する場合

ARC対応のHDMI端子を備えたテレビ用スピーカーやAVアンプなどに音声を出力する場合は、本製品のHDMI1（ARC対応）入力端子と、外部機器のARC対応HDMI端子を、ARC対応のHDMIケーブルで接続してください。



HDMIケーブル
(ARC対応)



ARC対応テレビ用スピーカー
AVアンプなど



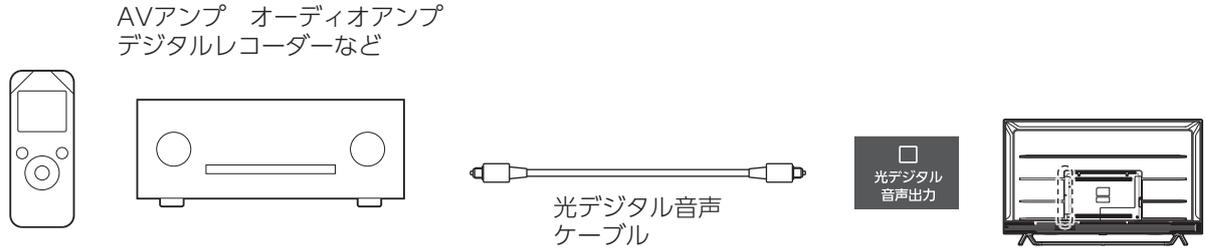
ポイント

- 接続した機器の音量は、テレビのリモコンで操作できるようになります。接続した機器によっては対応していない場合があります。
- 外部スピーカーへの接続設定はリモコンの **サブ1** を押して、音声設定>音声出力で設定してください。

機器と接続する つづき

AVアンプなどを光デジタル音声出力端子に接続する場合

外部機器の光デジタル音声入力端子と本製品の光デジタル音声出力端子を、光デジタル音声ケーブルで接続してください。



ポイント

- 光デジタル音声ケーブルの端子は、角型とミニの2種類があります。適切なケーブルをご用意ください。(本製品の端子は角型)
- 外部スピーカーへの接続設定はリモコンの **サブメニュー** を押して、音声設定>音声出力>光デジタル出力を選択してください。
- 再生する音量は接続した機器で調節してください。
- 番組によっては、デジタル音声が出力できない場合があります。

録画用ハードディスクの接続／取り外し

外付けUSBハードディスクを接続して登録すると、番組を録画・再生できます。

1 ケーブルを接続する

USB
ハードディスク



- ※ 本製品以外で使用していた外付けUSBハードディスクを本製品に接続して登録すると、保存されていたデータはすべて消去されます。
- ※ 外付けUSBハードディスクの動作中は、ハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因になります。
- ※ 登録できない場合は、ヘルプガイドをご確認ください。

2 テレビ本体の電源を入れてリモコンの **設定** (設定) ボタンか、ホーム画面の **設定** ボタンを選んで、[録画用HDD登録] から登録する

3 画面にしたがって登録する

取り外すときは

- リモコンの **設定** (設定) ボタンかホーム画面の **設定** ボタンを選び、[デバイス設定]>[ストレージ]から取り外す機器を選んで、[取り外し] で取り外してください。
- ※ 登録したハードディスクを取り外した後に再度接続する場合は、設定メニューから登録せずにUSBケーブルを接続するだけで、録画した番組を視聴できます。

ポイント

- ACアダプターで動作するハードディスクは、必ずハードディスクに付属のACアダプターを使用してください。
- USBハブは使用できません。

注意

- [録画用HDD登録] のメニューを実行すると、録画したデータはすべて消去されます。

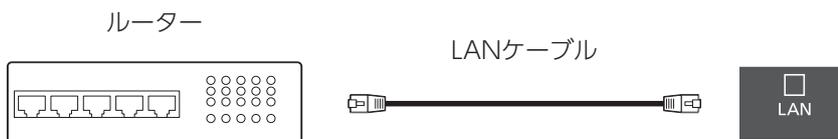
ネットワークに接続する

テレビをインターネットに接続するためには、あらかじめインターネットを使用できる環境が必要です。インターネット接続環境について詳しくは、ご利用の回線事業者やプロバイダーにお問い合わせください。ネットワークに接続すると、双方向データ放送や独立データ放送などを楽しむことができます。

ネットワークケーブルで接続する

本製品背面のLAN端子と、ネットワークにつながったルーターなどのLANポートを、LANケーブルで接続します。

1 LANケーブルを接続する



2 リモコンの (設定) ボタンか、ホーム画面の ボタンを押して、 [ネットワークとインターネット] > [イーサネット] をオンにする

- ※ イーサネットをオンにすると、各種設定項目が表示されます。
- ※ イーサネットとは、パソコンやゲーム機などの機器にケーブルを使用してインターネット接続する通信規格です。

3 各種項目を必要に応じて設定する

無線LAN (Wi-Fi) で接続する



無線LANを設定する

- 1 無線LANルーター (別売) を準備する
- 2 リモコンの  を押して設定を表示するか、ホーム画面右上の  ボタンを選ぶ
- 3 [ネットワークとインターネット] > [Wi-Fi]でWi-Fiをオンにして、使用するWi-Fiを選ぶ
- 4 暗号キーを入力して接続する

ポイント

- 無線LANルーターのSSIDと暗号キーを控えておいてください。

音声でコンテンツを検索する

リモコンに搭載されているマイクを使って、目的のコンテンツ検索やテレビの操作ができます。音声操作をする前にテレビをインターネットに接続してください。 →P19

音声でコンテンツを検索する



1 (Google Assistant) ボタンを押す

2 リモコン上部にあるマイクに向かって、検索ワードを発声する

 ポイント

- 画面上のマイクボタンを選んでも音声操作できます。
- 画面下部に、発声した音声ワードが表示されます。

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点をご確認ください。

まずはじめにご確認ください

電源が入らない場合

- ・電源プラグはコンセントに確実に接続されていますか？

リモコン操作ができない場合

- ・リモコンの乾電池は正しい極性（⊕ ⊖）で入っていますか？
- ・リモコンの乾電池が消耗していませんか？（消耗している場合は交換が必要）
- ・TVのリモコン受光部に向けて操作していますか？
- ・リモコン受光部に直射日光や照明の強い光などが当たっていませんか？

映像や音が出ない場合

- ・電源プラグやアンテナケーブル、外部接続機器が確実に接続されていますか？
- ・テレビや外部機器の電源は入っていますか？
- ・入力切替は合っていますか？
- ・音量は最小になっていませんか？ [消音]になっていませんか？
- ・ヘッドホンが接続されていませんか？

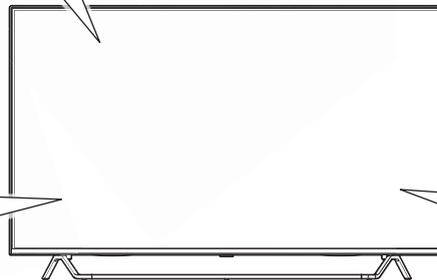
こんなときは異常ではありません

画面上に、赤や青、緑に点灯したままの点や点灯しない黒い点がある

液晶パネルには、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。

内部から「カチッ」という音がする

待機状態で番組情報取得などの動作時に、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。



キャビネットから「ピシッ」という音がする

部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本書以外の詳細な取り扱い方法については、ヘルプガイドをご確認ください。
<https://www.irisohyama.co.jp/luca/tv/smart-tv/support/>



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造しないでください。

お手入れ

・ 乾いた布で拭いてください。

※ 汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後はから拭きしてください。

! お願い

- お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ベンジンやシンナーは使わないでください。化学ぞうきんの使用は、注意書きにしたがってください。
- 殺虫剤や揮発性のあるものをかけないでください。
- ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの保護のため、パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押しったりこすったりしないでください。傷・変色の原因になります。
- 液晶パネルの表面に、結露による水滴など液体が付着した状態で使用しないでください。色むら・変色の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

システムアップデートについて

商品をより快適に使用いただくために、システムアップデートを行うことがあります。

・ システムアップデートのための準備が完了しているときは、電源を入れたときにシステムアップデートの画面が表示されます。

確認をすすめると、システムのソフトウェアが最新の状態に更新されます。

・ ネットワークから最新ソフトウェアへ更新することができます。

詳しくはヘルプガイドをご覧ください。

URL : <https://www.irisohyama.co.jp/luca/tv/smart-tv/support/>



仕様・商標

品番	65XDA20S	55XDA20	50XDA20	43XDA20
画面サイズ	65V型 (幅142.8×高さ80.4× 対角163.9cm)	55V型 (幅121.0×高さ68.0× 対角138.8cm)	50V型 (幅109.6×高さ61.6× 対角125.7cm)	43V型 (幅94.1×高さ52.9× 対角108.0cm)
本体	寸法 (スタンド 取り付け時)	幅145.1×奥行32.9× 高さ91.0cm	幅123.5×奥行27.1× 高さ78.3cm	幅112×奥行24.2× 高さ71.6cm
画素数 (水平×垂直)	3840×2160			
チューナー数	地上デジタル / BS・CSデジタル×2 / BS 4K・110度CS 4K×2			
スピー カー	チャンネル	2チャンネル		
	音声出力	12W + 12W		
入出力 端子	アンテナ端子	地上デジタル×1 / BS・110度CSデジタル×1		
	HDMI端子	HDMI (Ver.2.0b標準規格) ×3		
	ARC対応 HDMI端子	HDMI1		
	HDMI対応入力 解像度	480p、720p (60Hz)、1080i (60Hz)、1080p (24Hz、30Hz、60Hz) 3840×2160p (24Hz、30Hz、60Hz)		
	音声出力	3.5mmステレオミニジャック×1		
		光デジタル音声出力×1		
	LAN	LANポート (RJ45) ×1		
USB	USB3.0 端子 (録画用) ×1、USB2.0端子×1			
録画機能 ※ハードディスク (別売) がないと できません。	録画予約可能			
使用環境	温度：0～40℃ / 湿度：20%～80% RH (結露なきこと)			
付属品	Bluetoothリモコン×1、リモコン用単4形乾電池 (テスト用) ×2、スタンドベース×2、 スタンド用センターシャフト×1、スタンド固定用ねじ (大) ×4、スタンド組立用ねじ (小) ×4、 壁掛用スペーサー×2 (65XDA20Sは無し)、電源コード×1、取扱説明書 (本書)、保証書			

仕様・商標 つづき

品番	55XQDA20	
画面サイズ	55V型 (幅121.0×高さ68.0×対角138.8cm)	
本体	寸法 (スタンド取り付け時)	幅123.5×奥行27.1×高さ78.3cm
画素数 (水平×垂直)	3840×2160	
チューナー数	地上デジタル / BS・CSデジタル×2 / BS 4K・110度CS 4K×2	
スピーカー	チャンネル	2チャンネル
	音声出力	12W + 12W
入出力端子	アンテナ端子	地上デジタル×1 / BS・110度CSデジタル×1
	HDMI端子	HDMI (Ver.2.0b標準規格) ×3
	ARC対応HDMI端子	HDMI1
	HDMI対応入力解像度	480p、720p (60Hz)、1080i (60Hz)、1080p (24Hz、30Hz、60Hz) 3840×2160p (24Hz、30Hz、60Hz)
	音声出力	3.5mmステレオミニジャック×1
		光デジタル音声出力×1
	LAN	LANポート (RJ45) ×1
USB	USB3.0 端子 (録画用) ×1、USB2.0端子×1	
録画機能 ※ハードディスク (別売) がないとできません。	録画予約可能	
使用環境	温度：0～40℃ / 湿度：20%～80% RH (結露なきこと)	
付属品	Bluetoothリモコン×1、リモコン用単4形乾電池 (テスト用) ×2、スタンドベース×2、 スタンド用センターシャフト×1、スタンド固定用ねじ (大) ×4、スタンド組立用ねじ (小) ×4、 壁掛用スペーサー×2、電源コード×1、取扱説明書 (本書)、保証書	

リモコン

型番	LT-XRC1
電源	DC3V (単4形乾電池×2)
質量	約138g (乾電池含まず)
操作距離	約8m (直進)

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ このテレビは日本国内専用です。海外では使用できません。

動作確認済み外付けUSBハードディスクについて

動作確認済み外付けUSBハードディスクは、次のアイリスオーヤマサポートページをご覧ください。
URL : https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/products/tv/hdd_compatible.html



ライセンス・商標などについて

Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Atmos、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。非公開機密著作物。著作権 1992-2021年 ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

Dolby Vision・Atmos

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、及びHDMIロゴは、米国及びその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

本製品は株式会社ACCESSのNetFrontBrowserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
©2020ACCESS CO.,LTD.All rights reserved.

ACCESS®

NetFront® Browser BE

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

Google、Android、Google Assistantおよびその他の関連するマークとロゴはGoogle LLCの商標または登録商標です。

Wi-Fi は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイリスオーヤマ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Amazon、Prime Videoおよび関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

こんなときは

長年ご使用のテレビの点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 電源を入れても、画像や音が出ないことがある
- 電源を切っても、画像や音が消えないことがある
- 内部に水や異物が入った



**ご使用
中止**

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

◆MEMO◆

◆MEMO◆

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモをご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

